

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 名古屋市立菊井中学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注 1}

☒ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注 2} ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他 (例: 小中高一貫)

※注 1 義務教育学校を含む ※注 2 中等教育学校を含む

所在地 〒451-0043

愛知県名古屋市西区新道 1-6-33

E-mail kikui-j@nagoya-c.ed.jp

Website http://www.kikui-j.nagoya-c.ed.jp/

幼児児童生徒数 男子 80 名 女子 92 名 合計 172 名

幼児・児童・生徒の年齢 13 歳 ~ 15 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月 ~ 平成 30 年 3 月

※報告書提出時点 ~ 平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度 + 活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校は、「地域から学び、他者と協働しながら、主体的に活動できる生徒の育成」を基本方針とし、学校目標である「人間性豊かな菊井中学生の育成」に重点を置いて実践を行った。

E S D については、防災教育、地域との協働、社会貢献、学び合い・支え合い、問題解決能力を育む機会ととらえ、実践を通して、持続可能な開発に関する価値観 (人間や環境の尊重)、体系的な思考力 (問題や現象の背景の理解、多面的かつ総合的なものの見方)、コミュニケーション能力及びリーダーシップの向上を目標とした。

具体的には、特別活動、学級活動、教科指導、道徳指導、総合的な学習の時間を柱に、① E S D について知る活動②陸前高田市との交流活動③コミュニケーション能力を高める活動に取り組んだ。

① E S D について知る活動

5 月の環境学習ウィークを活用し、E S D やユネスコスクールに関する啓発を行った。全校集会では、E S D の概論や、名古屋市の環境問題に対する取り

組みについて、生徒会執行部が、プレゼンテーションを行った。また、本校のＥＳＤと関連する生徒会活動（残飯減量活動、エコキャップ運動、緑の羽根募金、陸前高田市との交流活動）についても紹介を行い、全校生徒で「自分にできること」を考えて取り組んでいくことが、活動を推進していく大きな力になることを強く呼びかけた。

② 陸前高田市との交流活動

本校では、東日本大震災の翌年から、岩手県陸前高田市との交流事業を行っている。今年度は、有志生徒で「ユネスコクラブ」を組織し、防災施設の見学や、現地の中学校や仮設住宅との交流活動、復興支援を呼びかける活動に取り組んだ。１学期には、学区の商店街の方々にご協力をいただき、商店街の七夕祭りに、陸前高田市のマスコットキャラクターをモチーフにした張りぼて作品を出品した。また、防災・減災や本校の活動に関する啓発スペースを設置し、祭りを訪れる方々に陸前高田市や震災に関するクイズに取り組んでいただいたり、本校の活動に関するチラシを配布したり、メッセージを書いていただいたりした。

２学期には、西区のお菓子まつりに「菊中商店」を出店した。出店に当たり、地域の製菓会社に協賛いただいたお菓子を袋詰めして、「がんばっぺし菓子（※がんばっぺし＝陸前高田市の方言で共に頑張ろうという意味）」を全校生徒で制作した。また、陸前高田市の商品も店頭に並べ、がんばっぺし菓子とともに販売をしたことで、東日本大震災に関することがらや、陸前高田市、そして西区のＰＲを行い、祭りの訪問者に支援を呼び掛けた。「菊中商店」の収益金を元に、再度地域の製菓会社からお菓子を購入し、「がんばっぺし菓子」を制作した。そして、兼ねてから交流をさせていただいている陸前高田市立第一中学校と陸前高田市立高田東中学校、米崎中学校仮設住宅の皆様にも、メッセージカードや活動紹介のＤＶＤと共に送付した。陸前高田市のみなさんからは、お便りをいただき、菊井中学校の活動の感想や現地の現状について情報をいただいた。

③ コミュニケーション能力を高める活動

全校生徒で、あいさつ運動（ハイタッチ・ハヤタッチキャンペーン）に取り組んだ。週番の生徒と登校する生徒が挨拶に加えて、アイコンタクトやハイタッチをする活動を行ったことで、学校全体で積極的に挨拶をすることができ、朝から明るい雰囲気にした。また、ユネスコクラブの活動では、異学年でのグループ活動を通じて、陸前高田市に関する広報活動や啓発活動を生徒自らの手で進めた。



① 全校集会の様子
（ＥＳＤについて知る活動）



② 菊中商店の様子
（陸前高田市との交流活動）



③ ハイタッチ・ハヤタッチキャンペーン
（コミュニケーション能力を高める活動）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- ・ なごや環境大学共育講座リーフレット
- ・ なごや環境ハンドブック

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校では、ユネスコスクールとしての活動を、①特別活動②学級活動③教科指導④道徳指導⑤総合的な活動の時間と関連させて位置付けている。生徒自身に活動の目的を考えさせたり、活動の振り返りをアンケート用紙で行ったりしている。また、その結果を踏まえ、生徒がより主体的に活動できるように、活動方法や活動内容を見直し、次時の活動に反映させるように努めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

年度当初に活動計画を作成し、全職員と計画を検討したり活動内容を共有したりすることで、共通認識の下、活動を行えるようにした。また、全校集会では、生徒に向けてＥＳＤやユネスコスクールに関する啓発を行ったり、ユネスコクラブの生徒を通じて、交流先の陸前高田市や生徒会活動に関する内容を、掲示物や発表で広報する機会を設けたりしたことで、どの生徒にも情報が行き渡り、身近な活動に目を向け、自分にできる活動に主体的に関われるようにした。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部／外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

生徒や保護者を対象に、学校アンケートを実施している。また、生徒については、各活動で実施している振り返りのアンケートによる評価を行っている。保護者からは、「特別活動が充実している」という声をいただいた。また、生徒からは「ＥＳＤについて詳しく知ることができた」「今後も自分にできる活動に進んで取り組んでいきたい」「地域の方により活動を知っていただきたい」という前向きな評価が得られた。次年度は全校生徒が有志生徒と同じように情報に触れる機会を提供し、学びを深めさせたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学校ホームページで、活動の様子を随時発信している。また、地域の商店街や区内のお菓子まつりに出店をさせていただき、チラシを配布したり、活動のモチーフとなる張りぼて作品を展示させていただいたりしている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

地域の商店街や製菓会社の方々、印刷業者の方を始め、西区役所と協働して活動に取り組んできた。また、名古屋市内の環境学習施設であるエコパル名古屋から、環境学習に関する冊子を提供していただいた。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

ユネスコスクールのネットワークから送られてくる情報や、他校のホームページを参考にさせていただいている。機会があれば、ESDに関する研修にも担当職員が自主的に出向き、ESDに関する学びを深めたり、職員同士で情報交換を行ったりしている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

有志で結成されたユネスコクラブの生徒は、学年を越えて協働し、アイディアを出し合ったり、交流を深めたりしながら活動を進める姿が見られた。陸前高田市との交流活動では、自分の地域の資源（商店街、製菓会社、祭り、特産物、人材）の魅力に気づく声や、当事者意識をもって「自分のできる活動を進んで行いたい」という声が聞かれた。また、啓発活動を通じて、自ら他者に働きかけたり、新しく企画を生み出したりすることに積極的になる生徒も見られた。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

陸前高田市との交流活動を通じて、他者を思いやる心を育む教育活動や、防災・減災について学びを深めることのできる教育活動に取り組んでいきたい。具体的な取り組みとして、①年間を通じて、思いやりや防災・減災に関する資料を読む機会を定期的に設ける②地域の資源（人材、企業、行事等）を活用し、協働する機会を設ける③生徒自身がESDに関わる活動を計画・実行することのできる場の提供を計画している。これらの活動を通じて、他者と協働し、学びを深めながら校内外に発信力のある生徒を育成していきたいと考えている。